

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

コメント

生活の連続性を大切にし、子どもたちの成長発達を考え、保育を行っている。大人の声の大きさは必要以上に大きくなく、子ども自身が好きな遊びを自分で見つけ、遊びこめる環境であった。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

職員の声の大きさが気にならない。子ども自身が見通しを持って生活できるように動線が分かりやすい。サークルになってミーティングを行っており、子どもたちの思いを出せるような分かりやすい話題や年齢によって内容が異なっていた。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

名簿等が置かれたままにはなっておらず、個人情報の保護は適切である。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

アセスメントシートより苦情解決は職員会等で職員に周知しており、苦情内容については必要に応じて周知し、改善にあたっていることを確認。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

アセスメントシートより、必要に応じて職員で周知をしていることを確認。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

訓練等の取り組みがなされていることを確認。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

アセスメントシートより、必要に応じて補修・修繕を行っていることを確認。職員→主任・園長→業者等ルートが明確である。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

コメント

園内外は清掃が行き届いており、保育室内は物の置き場所が決まっており、子どもたちにとっても分かりやすい環境である。置き場所は子どもたちにも周知されているため、遊びたい玩具がある際子ども自らが取りに行き、片付けも行っていた。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

コメント

各年齢毎に発達に合った玩具等があった。手作り玩具が充実しており、数も十分あった。また、子ども自身が自分で玩具を選べる環境であった。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0 歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1 歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2 歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

コメント

年齢に応じて保育目標があり、月案・週案・日案とのつながりが見られる。環境設定や玩具の提供では、モンテッソーリの教具を手作りで用意し、子どもたちが遊びを自ら選んでいた。日課（生活リズム）を変えず、生活の連続性を意識している。また、子ども自身が見通しを持って生活をしている。

【全体を通して】

子ども自身が見通しを持って生活できるよう0歳児からの生活の連続性を考えた保育が展開されている。職員間でも保育の見通しが持てるよう、共有がなされていた。職員の経験年数は様々であるが、一人ひとりの保育に対する意識は高く、職員間での連携（コミュニケーション）も園長や主任を中心としてなされており、副主任の役割も明確にされているため、連携がとりやすいと感じた。

評価日 2023 年 11 月 8 日

評価者 園 名 聖隷こども園わかば

役 職 園長

氏 名 加藤可織